# 市立布田小学校のシミュレーション(第三版)

#### (多摩川が氾濫した際に影響の出る学校)

#### 1 学校現況等

周辺環境: 品川通り南側、鶴川海道に近い。周辺住宅街。多摩川沖積低地に立地、多摩川

とは420mの距離にある

学校概要: 15クラス,児童458人。教職員(教員・事務)22人,市職員(栄養士・

業務員) 2人(臨時,嘱託含まず)

教員の対応: 教職員自身の子どもの引き取り、家族救護等でやむを得ず1日目の終業時間後

に帰宅することを想定する(40%減、 $22人\rightarrow 13人$ )なお、帰宅した職員については、各職場で事前に状況を把握し、交代で出勤する体制を組む。

**学区域人口**: 約8,400 人, 夜間人口約14,000 人

収容可能人数: 一時収容 1,467人,長期滞在 733人(地域防災計画による)

特記想定事項: ●多摩川による水害 (調布市洪水ハザードマップによれば浸水2m)

※低地に立地する学校の飛田給小,多摩川小,布田小,第五中は浸水 50cm~1m,杉森小,染地小,第三中が浸水2m地帯に当たる。

●地震による液状化現象 多摩川低地は液状化現象が想定される区域ではあるが、東京都土木技術支援・人材センターの公表データでは、影響はないと判断されている。

2 想定される係〈全体責任者:学校長 ●●〉

児童対応班(責任者:生活指導主幹 ●● )

担当	業 務 内 容	担当者
情報連	人的・物的被害その他の異常事態を各係から報告を受け、学校長及び災害	••
将 終係	対策教育部へ連絡する。その他、災害に係る情報を収集し、関係者に連絡	••
和下	する。	
避難誘	校庭 (体育館) に避難誘導に当たる。広域避難所までの避難経路の確認を	••
導係	行う。児童の引渡しを行う。行方不明の児童の捜索を消火・巡視係に依頼	
守水	する。	
消火・巡	校舎の被害の確認,行方不明の児童の捜索,初期消火,火元の遮断,出火	••
視係	防止対策,火災の警戒,ガス,水道等の元栓や理科薬品保管等の点検を行	
172.01	い,点検結果等を情報連絡係に連絡する。	
	養護教諭を中心とする。救急薬品の確保、軽傷者への救急措置に当たる。	••
救護係	重傷者については、応急手当を行い、災害対策本部、医療機関、医療救護	
7久疫 (水	所又は仮救護所に速やかに連絡をとるよう情報連絡係に指示する。心のケ	
	アへの対応をする。	
	重要文書の搬出。校舎内での火災や校舎への延焼のおそれがある場合は,	••
搬出係	非常持ち出し品を搬出し、管理する。なお、非常持ち出し品を搬出する事	
	態が生じない場合は、他の係への応援要員とする。	

避難所支援班(責任者:副校長 ●●)

担 当	業務	内 容	担当者
₩ <b>☆</b>	・避難所運営本部設置場所の決定	・避難所運営連絡会の設定	••
総務・情 報係	・情報の収集,整理,確認及び伝達	・避難所内の情報提供場所の設置	
報が	・避難者名簿の作成,整理,管理	・市災害対策本部との連絡調整	
避難所	・避難所に使用するスペース	・立ち入り禁止区域の指定	••
避難別   係	・避難者の誘導	・避難所生活のルールの策定	
浠	・ボランティアの組織化		
	・防災備蓄用品の管理,配給	・救援物資の受入れ,整理,管理,	••
物資係	配給		
	・飲料水,生活用水の確保,配給	・炊き出し	
	・医療救護所設置場所の事前確認		••
<b></b>	・医療救護所への協力(設置されない	又は設置されるまで応急手当の実施	
救護·衛 生係	・仮設トイレの確保・設置	・トイレ用水の確保	
土が	・トイレ、ごみ集積場の清掃	<ul><li>・衛生管理</li><li>・PTSDへの</li></ul>	
	対応		

==				
時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
11:24	多摩直下型	市民に対し,防	〈学級担任〉	
	震度7の地	災行政無線で,	①児童に防災頭巾を被らせ机	避難所運営
	震発生。倒	地震の情報,火	Ø.	
	壊家屋多	の元の確認を	下へ避難など安全確保(1次	教職員が中心的な役割
	数。京王線	周知する(総合	避難)	を担う(地域防災計
	運転見合わ	防災安全課)	〈消火・巡視係〉	画・学校防災マニュアル)
	せ。市内全		①給食調理員は,給食室の火気	
	域で電気・		の安全を確認し所定の役割	
	ガス・上下		担当に従事	
	水道供給停		※学校長を学校災害本部長とし	、 、生活指導主任・学級担任 15 人で保
	止。道路は		護者の引き取りまで児童対応	5。避難所開設・運営は副校長ほか4人
	通行不能又		   と市職員で従事 児童在校中	っは, 対応が難しい
	は渋滞		〈避難誘導係〉 ①体育館の安全確認後,一旦体育館に避難(2次避難) 〈救護係〉 ①児童の負傷状況の確認。応急 処置	学校と地域  →避難所開設には、地域 の協力が不可欠。 <u>地区協</u> 議会等と役割を明確にし  ておく

# 11:25 者も多数。 11:30

#### 役割分担の確認

→学校は,児童の安全確 保体制,避難所開設体 制がとれるよう役割 分担しておく

#### 備蓄品と鍵の確認

→日頃から教職員全員 が備蓄品と備蓄庫(校 庭南側・体育倉庫横) の鍵の所在を把握し ておく

市内各駅, ①来庁者の安 滞留者多数 全

発生, 負傷 確保

市内で火災 も発生

③総合防災安 全課は初動 本部立ち上 げ

①庁内 · 各施設 の安全確認 ②市民を安全

場所に移動

③災害対策教

させる

部設置

②業務停止

# 実験用品等の管理

→日頃から保管に は、十分注意して 管理する

# <u>避難所レイアウト・教室</u> 使用計画表・案内板の掲 示

→事前準備してある避 難所レイアウト・教室使 用計画表・案内板を所定 位置に掲示する。 (体育館は児童で一杯)

トイレの問題

→携帯トイレを使用。 組み立てトイレは 校庭に設置。汚物は 収集車が入れる場 所に一時保管

教室使用計画案

保健室

校長室 : 本部

応接室 : 本部

職員室 : 教職員控え室

2の1, 2の2 : 妊婦, 乳幼児

1年教室: 高齢者, 身障者

: 救護室

## 特記 水害発生

避難所を閉鎖して,高台の避難所(富士見台小学校等)へ避難する。その間 がない時は,建物の2階以上に避難する。

児童対応班は、児童を安全な避難先に誘導し、その後は避難先の責任者の指 示に従って行動する。避難所支援班は,避難者を安全な避難先に誘導し,そ の後は避難先の責任者の指示に従って行動する。

情報連絡係は学校メールで児童の引き取り先の変更を保護者に連絡する。

11:35 特記 多摩 特記:水害発生

川による水 ①市民に対し、

		<u></u>	
害発生	<b>生</b> 防災行政無		
<u>(避</u> 難	<b>勧告)</b> 線で水害発		
	生及び低地		
	地域住民の		
	避難勧告を		
	呼びかけ(総		
	合防災安全		
	課)		<ul><li>→水害発生の危険性が判明した時点</li></ul>
			で,早めに富士見台小学校に避難
			誘導を行う。
	Lette 28 5% (L. 2	.b.) .b. IB A 3.71 2 64 2 101 7	
	水害が発生し	√なかった場合は引き続き以下© 	の対応となる
11:40	市民に対し、防	〈消火・巡視係〉	〈避難所係〉
	災行政無線で,	①校舎・教室等の安全確認後,	①避難者が駆け付け始まる。
	避難所開設を	使用不可の教室がある場合	②地区協議会の方,数人到着
	周知する(総合	にはその旨掲示。その後児童	
	防災安全課)	は教室に移動。教員3人は,	
		割れたガラス等を除去する。	共通課題
		〈情報連絡係:副校長〉	→災害備蓄倉庫に2 ススペッ
		②災害ダイヤル, 学校 IIP 掲示板,	トボトルを保管。今後学校
		学校安全安心メールで保護	で保管可能か検討。
		者に対し児童の状況報告と引	受水槽の水の確保(直結
		き取り依頼 (非常電源利用)	式でない学校)。
			トイレは流さない。
			蛇口は開栓しない。
11:45			〈避難所係〉
		共通課題	①児童が体育館から教室に移動した
			のを確認してから、避難者を体育
		のためのビニール袋を	館に移動させる
		備蓄品に追加する必	②要援護者の避難場所の整備
		要あり。	
			情報収集
			だし、情報収集する(調布
			FM83.8Mh z)
12:00		〈避難所誘導係:学級担任〉	
		①保護者への引渡し始まる	
		→児童の引渡しは、その時の被	

		害状況に応じて、各教室か校庭	
12:25	①災害対策教 育部から避 難所運営責 任者を派遣	<ul><li>で、学級担任が責任をもって行う。</li><li>う。</li><li>共通課題</li><li>→負傷者の対応養護教 論だけでは不可能</li></ul>	〈救護・衛生係〉 ①ケガ人の応急処置を保健室で養護 教諭が対応。 ②避難者 1,200 人
12:30	① 市災対本部 設置(総合防 災安全課)	<ul> <li>共通課題</li> <li>→指定の救護所(布田小は,第三中学校)への搬出(重傷者は杏林大学病院,慈恵大学第三病院へ)</li> </ul>	〈総務・情報係〉 ①災対教育部に現況報告(副校長) 第1次地域応援体制づくり (地域の方々と相談する)
12:50	①災害対策教育部職員到着	避難所の運営につい て協議 →学校長,避難所運営 責任者,避難者,地 域の方々で協議 副校長は避難所運営 責任者と引き継ぎ を行う	①災害対策教育部職員は, 学校・地 区協議会と協力して避難所運営に 当たる
13:00	①都立調布南 高校に避難誘 導開始	(物資係) ①児童に水を提供 (可能なら給食,牛乳提供)	<b>〈避難所係〉</b> ①避難者 1,500 人。布田小学校避難 所満員。 ②これ以降,他の施設への誘導を災

		布田小の代替施設 →都立調布南高校へ誘導か?	害対策本部に連絡。 <b>〈物資係〉</b>
		〈情報連絡係〉	①避難者に水を提供
		校長または副校長は避難所責	
		   任者に児童の状況を報告	   〈総務・情報係〉
			避難者数・負傷者数の避難者の状況
			を避難所責任者へ報告
			<ul><li>災対教育部に現況報告(避難所責任</li></ul>
			者)
		学校から災害対策	情報提供(随時)
		教育部へ報告	✓ →避難者に対して, ラジ
		→防災行政無線で,	オ)や掲示板で情報提供
		児童の状況・避難	(調布FM83.8Mhz)
		者数(男女別)・負	
		傷者数を 15:00,	
		17:00, 19:00, 21:00	
		(避難所運営責任者 / 担当)	共通課題
			→学校医の協力確保
13:30	①市災害対策	①児童引き取り率 5%	〈救護・衛生係〉
	本部から職員		①避難所で死亡者発生。毛布で包み
	5人派遣	# 'Z ## BE	校庭倉庫で一時保管
		<b>共通課題</b>	
		→停電が継続した場	
		合、懐中電灯では光	
		源の確保が厳しい。	
		投光機やランタン	
		型懐中電灯の備蓄	
13:55	①市職員到着		〈市職員〉
			①到着した市職員は、避難所運営に
			<u>從事</u>
14:00			〈市職員〉
1		- 6 -	

16:00   一次					①市職員は、校庭に組立トイレ設置
日本 (					
び渡頭) の下へ避難など安全降保(1 次渡頭) (特別連絡係) 接張大は副校長は避難所責 在者に児童の状況を報告 投表を言語に現況報告 (避難所責任者へ報告 投表を言語に現況報告 (避難所責任者) (市職員、物資係) (市職員、物資係) (市職員、物資係) (市職員、物資係) (市職員、物資係) (市職員、物資係) (地域の方々と学校区到帝 第2次的場応技体制づくり (地域の方々と導力を削力する) (地域の方々と導力を削力する) (地域の方々と協力体制をつくる) (地域の方々と協力体制をつくる) (地域の方々と協力体制をつくる) (地域の方々と協力体制をつくる) (地域の方々と協力体制をつくる) (教資係) (教育係) (教育係) (教育係) (教育・情報係) 接種者数・負傷者数の避難者の状況を経告 (保証連絡係) 投展または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告 (教務・情報係) 差離の協力 人地域の協力 人地域の協力 を得 (教育係) (教育係) (教育係) (教育係) (教育係) (教育係) (教育係) (教育の協力 人地域の協力 と得 て、食事の提供 (物資係) (物資係) (物資係)	15:00	震度 5 弱の	①市災対本部	〈学級担任〉	〈避難所係〉
次連翹) (情報連絡係) 校長または副校長は避難所責任者へ報告 (養養・内臓者数の避難者の状況を報告  (本書に児童の状況を報告  (本書に児童の状況を報告  (本部員、物資係)  (本部員、物資係)  (本部員、物資係)  (本部員、物資係)  (本部の中の確認と使うと想定される物を外に出す  (本記のサースをいるの場合は立分の子生の引き取り、定数自は自分の子供の引き取り、家族介護等で40%係を (情報連絡係) 校長または副校長は避難所責任者へ報報の避難者の状況を避難所責任者へ報報を (体報連絡係) 校長または副校長は避難所責任者へ報報を (本書に児童の状況を報告  (教務・情報係)  (教育の選集者を、発酵の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の協力を表し、企業の関係)  (物資係)		余震発生	招集(総合防	①児童に防災頭巾を被らせ机	①避難者の安全確認
(情報連絡係) 校長または副校長は避難所責任者へ報告 (連難所責任者へ報告 (連難所事者と、記念を外に出す (地域の方々と学校医到著 第2次即東に提体前づくり (地域の方々と協力体制をつくる) (地域の方々と管理を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を			災安全課)	の下へ避難など安全確保(1	
校長または副校長は避難所責 を避難所責任者へ報告 (本職員、物資係)  (本職員、物資係)  (本職員、物資係)  (本職員、物資係)  (本職員、物資係)  (本職員、物資係)  (地域の方々と学校医到着  第2次地域は提供割づくり (地域の方々と協力体制をつくる)  (地域の方々と場及医到者  第2次地域は提供割づくり (地域の方々と協力体制をつくる)  (地域の方々と協力体制をつくる)  (本で作る。その場合) は早めの準備が必要  (、ないのでは、ない場合) は早めの準備が必要  (、ないのでは、ない場合) は早めの準備が必要  (、ないのでは、ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。ない。な				次避難)	〈総務・情報係〉
日書に児童の状況を報告    技趣課題				〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数の避難者の状況
# 2				校長または副校長は避難所責	を避難所責任者へ報告
大通課題  一パール・ジャッキな どの工具類も教助 活動に必要  「小地域の方々と学校医剥着  第2次地域を操作制づくり (地域の方々と強力体制をつくる)  大通課題 一素放きができない場合は、アルファ米は 水で作る。その場合 は早めの準備が必要  ①企業提供の準備 り、家族介護等で40%帰宅  《情報連絡係》 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告  「特報連絡係》 校長または副校長は避難所責 を避難所責任者へ報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				任者に児童の状況を報告	災対教育部に現況報告 (避難所責任
16:00  16:00  16:00  (小畑ル・ジャッキなどの工具類も教助活動に必要  (小地域の方々と学校医到者  (・地域の方々と協力体制をつくる)  (・地域の体制をつくる)  (・地域の体制を可能をつくる)  (・地域の体制を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を					者)
との工具類も教助 活動に必要  (①地域の方々と学校医剤者  第2次地域応援体制づくり (地域の方々と協力体制をつくる)  (地域の方々と協力体制をつくる)  (地域の方々と協力体制をつくる)  (物資係)  (物資係)  (物資係)  (物資係)  (物資係)  (物資係)  (物資係)  (物資係)  (物資係)				<u>共通課題</u>	〈市職員,物資係〉
16:00   上通課題				<i>→バール・ジャッキな</i>	①備蓄倉庫の中の確認と使うと想定
17:00    大通課題				どの工具類も救助	される物を外に出す
#通課題  →意炊きができない場合は、アルファ米は水で作る。その場合は早めの準備が必要  ①児童引き取り率20% ②教員は自分の子供の引き取 り、家族介護等で40%帰宅  〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者へ報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				活動に必要	
	16:00				①地域の方々と学校医到着
大選問題					第2次地域応援体制づくり
				#诵課題	(地域の方々と協力体制をつくる)
合は、アルファ米は 水で作る。その場合 は早めの準備が必要  ①児童引き取り率 20% ②教員は自分の子供の引き取り、家族介護等で 40%帰宅  《情報連絡係》 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告  ②教養の状況を報告  ②教養に見童の状況を報告  ※数教育部に現況報告(避難所責任者)  地域の協力 →地域の協力 →地域の協力を得て、食事の提供 (物資係)  (物資係)				/ <del></del>	
ホで作る。その場合 は早めの準備が必要 ①児童引き取り率 20% ②教員は自分の子供の引き取 り、家族介護等で 40%帰宅 (情報連絡係) 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告 を避難所責任者へ報告 災対教育部に現況報告(避難所責任 者)					
は早めの準備が必要  ①児童引き取り率 20% ②教員は自分の子供の引き取り、家族介護等で 40%帰宅  〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者な数の避難者の状況を避難所責任者に児童の状況を報告  *地域の協力 →地域の協力 →地域の協力を得て、食事の提供 〈物資係〉  〈物資係〉  〈物資係〉  〈物資係〉  〈物資係〉  〈物資係〉					
①児童引き取り率 20% ②教員は自分の子供の引き取り、家族介護等で 40%帰宅  〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責任者へ報告 任者に児童の状況を報告  ・ 選難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 ・ 災対教育部に現況報告 (避難所責任者)  ・ 地域の協力 ・ 地域の協力 ・ 、食事の提供 〈物資係〉  〈物資係〉  〈物資係〉			\		
②教員は自分の子供の引き取り、家族介護等で 40%帰宅  《情報連絡係》 校長または副校長は避難所責任者へ報告 任者に児童の状況を報告  地域の協力 →地域の協力 で、食事の提供 、物資係〉  (物資係)  ①食事提供の準備  《総務・情報係》 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 、災対教育部に現況報告(避難所責任者)  (物資係)					
②教員は自分の子供の引き取り、家族介護等で 40%帰宅  《情報連絡係》 校長または副校長は避難所責任者へ報告 任者に児童の状況を報告  地域の協力 →地域の協力 で、食事の提供 、物資係〉  (物資係)  ①食事提供の準備  《総務・情報係》 避難者数・負傷者数の避難者の状況を避難所責任者へ報告 、災対教育部に現況報告(避難所責任者)  (物資係)					7
り、家族介護等で 40%帰宅  〈情報連絡係〉 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告  を避難所責任者へ報告  ※対教育部に現況報告(避難所責任者)  地域の協力  →地域の協力を得  て、食事の提供  〈物資係〉  〈物資係〉	17:00			①児童引き取り率 20%	〈物資係〉
《情報連絡係》 校長または副校長は避難所責 任者に児童の状況を報告  遊難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者)  地域の協力  → 地域の協力を得 て、食事の提供 《物資係》  《物資係》				②教員は自分の子供の引き取	①食事提供の準備
校長または副校長は避難所責 避難者数・負傷者数の避難者の状況 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任者) <b>地域の協力</b> → 地域の協力を得て、食事の提供  〈物資係〉  〈物資係〉				り,家族介護等で 40%帰宅	
校長または副校長は避難所責任者へ報告を避難所責任者へ報告 変対教育部に現況報告(避難所責任者) 地域の協力 ・地域の協力 ・地域の協力を得て、食事の提供 く物資係〉 く物資係〉					
任者に児童の状況を報告 を避難所責任者へ報告 <u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者) <b>地域の協力</b> → 地域の協力を得 て、食事の提供  (物資係)  〈物資係〉				〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
<u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任 者)				校長または副校長は避難所責	
<b>地域の協力</b> →地域の協力を得 て、食事の提供  (物資係)  〈物資係〉  〈物資係〉				任者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
<u>地域の協力</u> →地域の協力を得 て、食事の提供  (物資係)  〈物資係〉					災対教育部に現況報告 (避難所責任
→地域の協力を得 て、食事の提供 (物資係) (物資係)					者)
→地域の協力を得 て、食事の提供 (物資係) (物資係)				14.14.0.14.1	
て、食事の提供 (物資係)				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
17:30 〈物資係〉				/	
				で、食事の提供	
①児童約 366 人 (80%) に食事・ ①避難者 1,000 人に食事・水を提供	17:30				
- 7 -					①避難者 1,000 人に食事・水を提供

		1. 3- HH (III.	(TF 1000 A)
		水を提供	(残 4600 食)
			避難者名簿作成
			→避難者に名簿記入
		11 17 27 27	してもらう
		<b>共通課題</b>	
		一→備蓄毛布の不足が	
18:30		見込まれる。災害対	〈総務・情報係〉
		策備蓄倉庫から搬	①避難者名簿の作成
		入。	〈物資係〉
			①毛布等の提供(備蓄 400 枚)
			※地域から布団毛布等の提供は可
			能か?
21:00	①市災対本部	①児童引き取り率 40%	〈総務・情報係〉
	招集(総合防	〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数の避難者の状況
	災安全課)	校長または副校長は避難所責	を避難所責任者へ報告
		任者に児童の状況を報告	<u>災対教育部に現況報告</u> (避難所責任
			者)
22:00		〈救護・衛生係、避難所係〉リ	記童・避難者の健康状態の確認 
		①児童引き取り率50%	①避難者 750 人宿泊
		②児童約230人教室に宿泊	②市職員と地域の方の交代で2時ま
		③教職員交代で2時まで仮眠	で仮眠
		※ プール水は、火災発生の	場合消火活動用に使う場合がある

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			①教職員交代で仮眠	①市職員と地域の方交代で仮眠

〈救護・衛生係、避難所係〉児童・避難者の健康状態の確認

9:00		①市災対本部招		
		集(総合防災	①児童引き取り率60%	〈総務・情報係〉
		安全課)	〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数の避難者の状況
			校長または副校長は避難所責任	を避難所責任者へ報告
			者に児童の状況を報告	災対教育部に現況報告 (避難所責任
				者)
10:00			共通課題	①総合体育館へ遺体の搬出
			/ →遺体を総合体育館 /	
			への運搬体制(災害	
			対策福祉健康部福祉	
			班が担当)	
11:00			〈情報連絡係〉	〈物資係〉
			校長または副校長は避難所責任	①食事提供の準備
			者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数の避難者の状況
11:24	24 時間経過			を避難所責任者へ報告
				災対教育部に現況報告 (避難所責任
				者)
11:30			〈物資係〉	〈物資係〉
			①児童約 183 人に食事と水を提	①避難者 750 人に食事・水を提供 (残
			供	3600 食)
17:00				〈物資係〉
			①児童引き取り率 70%	①食事提供の準備
			〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
			校長または副校長は避難所責任	避難者数・負傷者数の避難者の状況
			者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
				災対教育部に現況報告 (避難所責任
				者)
17:30				〈物資係〉
			〈物資係〉	①避難者 750 人に食事・水を提供 (残
			①児童約 137 人に食事と水を提	2650 食)
			供	
21:00				〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数の避難者の状況
			〈情報連絡係〉	を避難所責任者へ報告

		校長または副校長は避難所責任	災対教育部に現況報告 (避難所責任
		者に児童の状況を報告	者)
22:00	①市災対本部招	〈救護・衛生係、避難所係〉』	見童・避難者の健康状態の確認
	集(総合防災		①児童約92人(20%の児童は保護者
	安全課)		負傷等迎えに来られず)
		①児童引き取り率 80%	避難者 750 人
		②児童約92人宿泊	②市職員と地域の方交代で2時まで
		③教職員交代で2時まで仮眠	仮眠

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			①交代で仮眠	①交代で仮眠
9:00		①市災対本部招	〈救護・衛生係、避難所係〉児	童・避難者の健康状態の確認
		集(総合防災	〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		安全課)	校長または副校長は避難所責任	避難者数・負傷者数の避難者の状況
			者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
				災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
				児童約 92 人(20%の児童は保護者
				負傷等迎えに来られず)避難者 750
				人
11:00			〈情報連絡係〉	〈物資係〉
			校長または副校長は避難所責任	①食事提供の準備
			者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数の避難者の状況
				を避難所責任者へ報告
				災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
11:24	48 時間経過			
11:30			〈物資係〉	〈物資係〉
			①児童約92人に食事と水を提供	①避難者 750 人に食事・水を提供 (残
				1750 食)
13:00			〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉

		校長または副校長は避難所責任	避難者数・負傷者数の避難者の状況
		者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
			災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
15:00		〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		校長または副校長は避難所責任	避難者数・負傷者数の避難者の状況
		者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
			災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
17:00		〈情報連絡係〉	〈物資係〉
		校長または副校長は避難所責任	①食事提供の準備
		者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
			避難者数・負傷者数の避難者の状況
			を避難所責任者へ報告
			災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
17:30		〈物資係〉	〈物資係〉
		①児童約46人に食事と水を提供	①避難者 750 人に食事・水を提供 (残
			900 食)
19:00		〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		校長または副校長は避難所責任	避難者数・負傷者数の避難者の状況
		者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
			災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
21:00		〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		校長または副校長は避難所責任	避難者数・負傷者数の避難者の状況
		者に児童の状況を報告	を避難所責任者へ報告
			災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
22:00	①市災対本部	〈救護・衛生係、避難所係〉児童・避難者の健康状態の確認	
	集(総合防	災	
	安全課)	①児童引き取り率 90%	①児童約46人(保護者負傷等で迎え
		②児童約 46 人宿泊	に来れず) 避難者 750 人
		③教職員交代で仮眠	②市職員と地域の方の交代で仮眠

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			①交代で仮眠	①交代で仮眠
9:00		①市災対本部招		
3.00		集(総合防災	〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		安全課)	校長または副校長は避難所責任	〈物資係〉
			者に児童の状況を報告	①児童約 46 人に食事と水を提供
				児童約 46 人(10%の児童は保護者
				負傷等迎えに来られず)避難者 750
				人
11.00			/ha +n> = 40 (5)	/4L-27/77\
11:00			〈情報連絡係〉	〈物資係〉
			校長または副校長は避難所責任	①食事提供の準備
			者に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数の避難者の状況
				を避難所責任者へ報告
				災対教育部に現況報告 (避難所責任者)
11:24	72 時間経過			

## 布田小学校の課題

- ①収容人員がいっぱいのとき,近隣の都立調布南高校と連携を図る。都立調布南高校がいっぱい の場合は,災害対策本部の指示に従う。
- ②多摩川による水害が発生したら、浸水害が想定される。その場合は富士見台小学校に避難する。